

Release Identification: LTC4075HVX

2007.04.11

## リニアテクノロジー、新製品「LTC4075HVX」を販売開始

USB または AC アダプタ入力を自動的に選択する高電圧 950mA リチウムイオン・バッテリ・チャージャ

2007 年 4 月 11 日 - リニアテクノロジーは、2 つの個別の電源(AC アダプタと USB)からの 1 セル・リチウムイオン/ポリマー・バッテリ充電を効率的に管理する、スタンドアロン・デュアル入カリニア・バッテリ・チャージャ「LTC4075HVX」の販売を開始しました。LTC4075HVX は、スタンバイ・モードとシャットダウン・モードのどちらでもバッテリ端子からの消費電流が 12 μA を下回るので、バッテリ・エネルギーを節約できます。高さの低い(0.75mm)10 ピン 3mm×3mm DFN パッケージで供給される LTC4075HVX は、外付けの MOSFET、センス抵抗、ブロッキング・ダイオードが不要なので、ソリューション全体の実装面積は 25mm² 以下となります。LTC4075HVX は-40°C~85°Cでの動作が定格され、1,000 個時の参考単価は 252 円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。

LTC4075HVX は定電流/定電圧アルゴリズムを採用し、AC アダプタ電源と USB 電源の各入力電圧の存在を自動的 に検知しながら、AC アダプタ電源から最大 950mA、USB 電源から最大 850mA の充電電流を供給することができます。 どちらの場合も最終フロート電圧精度は±0.6%です。また、どちらの入力も 22V(最大)まで保護されます。選択された電源が過電圧ロックアウトの制限値を超えると、充電を停止します。LTC4075HVX はトリクル充電機能をディスエーブルするので、バッテリ低下時に高い充電電流を必要とするシステムに適しています。アプリケーションには PDA、MP3 プレーヤ、軽量の携帯医療機器およびテスト機器、大型カラー画面携帯電話などがあります。

LTC4075HVX は特許取得のサーマル・レギュレーション回路を搭載しているので、過熱の恐れなく最大充電速度を達成します。このデバイスは柔軟性が非常に高く、AC アダプタ電源の充電電流、USB 電源の充電電流、充電終了電流をいずれも1 本の抵抗でプログラムできます。また、LTC4075HVX は外部マイクロプロセッサを使用せずに充電を終了できるので、スタンドアロン・チャージャとして設計を簡素化します。このデバイスは低電圧ロックアウト、自動再充電、充電状態表示、「電源検出」状態表示を特長としています。

## LTC4075HVX の特長

- 1 セル・リチウムイオン/ポリマー・バッテリのスタンドアロン・チャージャ
- AC アダプタおよび USB 入力からの電圧:22V(最大)
- 入力電源の自動検出および選択
- AC アダプタおよび USB 入力の過電圧ロックアウト
- AC アダプタ入力からの最大 950mA の充電電流をプログラム可能
- USB 入力からの最大 850mA の充電電流をプログラム可能

- MOSFET、センス抵抗、ブロッキング・ダイオードが不要
- サーマル・レギュレーションにより、過熱の恐れなく最大充電レートを実現
- ±0.6%精度のプリセット充電電圧
- C/X 充電電流終了をプログラム可能
- シャットダウン時の USB サスペンド電流:45 µ A
- 高さの低い(0.75mm)10ピン3mm×3mm DFN パッケージ

フォトキャプション: 自動電源選択付き高電圧リチウム・チャージャ

Copyright: 2007 Linear Technology

以上